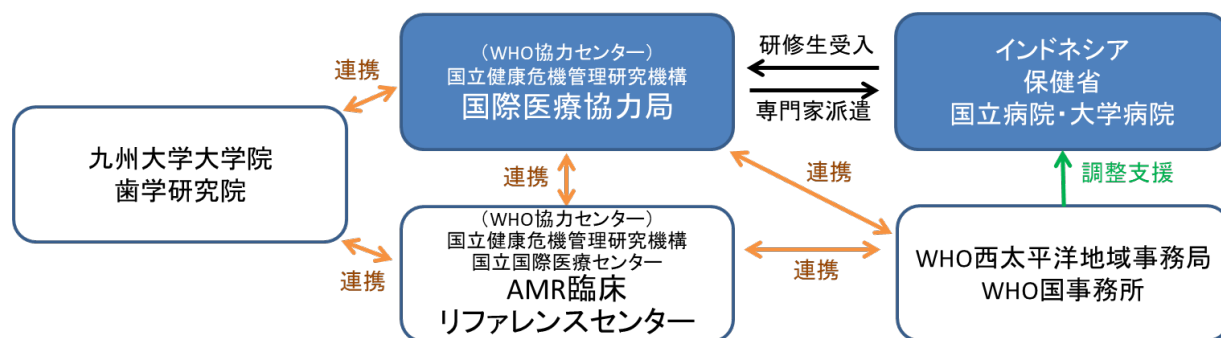


インドネシアの口腔保健領域における薬剤耐性（AMR）対策強化：
抗菌薬の適正使用推進とWHO必須歯科材料の実装） 3年計画の1年目

1. 案件目的 インドネシアの口腔保健領域における薬剤耐性（AMR）対策の強化：抗菌薬適正使用の推進とWHO必須歯科材料の標準的使用の実装
2. 案件の概要 本事業は、インドネシアの口腔保健領域におけるAMR対策強化を目的に、国立健康危機管理研究機構（JIHS）国際医療協力局が全体運営を担い、JIHS国立国際医療センターAMR臨床リファレンスセンター及び九州大学大学院歯学研究院と連携し、WHO西太平洋地域事務局・インドネシア国事務所の支援の下、インドネシア保健省（口腔保健／AMR担当）と協力して実施する。日本の「抗微生物薬適正使用の手引き（歯科編）」を基に、歯科領域の抗菌薬適正使用とWHO必須歯科材料の標準的使用・供給管理を統合した指針・教材を作成し、保健省担当官、3次医療施設（国立病院、大学病院）、2次医療施設、プライマリケア施設、職能団体等を対象に研修を実施する。
3. 案件の成果、着地点 インドネシア版「抗微生物薬適正使用の手引き（歯科編）」・研修パッケージを完成し、行政文書への反映を目指す。対象地域の3次医療施設を起点に2次医療施設・プライマリケアへとカスケード研修を導入し、抗菌薬適正使用の実施状況を定期的にモニタリングする。



＜R8年度の研修予定＞

9月 本邦研修(研修生受入・8名)

・口腔保健領域の抗菌薬適正使用・WHO必須歯科材料の使用・供給管理、手引き・教材作成開始

9月～ オンライン研修(定例・約8～15名)

・手引き・教材作成打ち合わせ

12月 現地パイロット研修(専門家派遣・5名)

・教材試行、課題抽出・改善点整理